

嫌われても皆の為にいつ迄も

自分に戻り、電車の外の流れる景色に目が行く。
後方に流れる家屋にそって、黒雲ひとつ 追いかけてくる。

青空に雲ひとつ。

誰にも気付かれず、

いつの間にか生まれたの？

ちっちゃな黒雲よ。

お前は頑張る、

いつか、大空を真っ暗にしようと。

お前はいつか大きくなる。

そして、多くの人を、

お前のどす黒さを知り、

忌み嫌うだろう。

しかし、お前はなくてはならぬもの。

大地にうるおいを もたらし、

我々の渴きを いやすもとなる。

しかし、世の人は お前の様態ばかりを見て、

お前の偉大さに 気付かない。

しかし、お前は 無言で頑張る、

嫌われても、皆の為に、いつまでも。

家に帰り、英会話テープを 終わらして

投函し、めしを食ったら

すぐ 床にはいり、

宿題、英語解釈をして、

十時頃、コックリ、グースカ。